

# 同期生55名出席 卒業48周年祝う

## 昭和37年卒定時総会

昭和三十七年卒同期会の定時総会が九月四日、秋田キヤッスルホテルで開催された。

残念ながら今回は恩師のご出席はなかったが、同期生五十五名の出席があった。

総会の司会は鍋島喜隆君。はじめに物故者への黙祷をささげたのち、経過報告、会計報告と進み、役員改選では会長に寺田俊夫君を再任したほか、四十八名の新役員が選任された。



後列左より 村上三津雄、東海林恒雄、照井敏雄、相馬守胤、佐藤進、加藤三朋、館山俊治、中列左より 金沢祐吉、野口力、築茂和、加藤日出男、八代梓、和田明、小西忠邦、御代寄雄、前列左より 佐藤菊夫、諸橋達夫、富田寛

# 秋中14日会

4月11日開催



大学と将来像を熟っぽく解説。懇親会の司会者は佐藤忠次君。乾杯の発声は所沢市から参加した中島正紘君。恒例により県外からの出席者七名が近況を報告。わいわい旧交を温めているうちに至福の二時間間はあっという間に経過し、前日開催した記念コンパの優勝者高屋征照君の中締めで締

記念講演は秋田大学学長吉村昇君。「秋田大学のあり方を再考する」と題し、プロジェクトを駆使して約一時間にわたる、躍進を続ける現在の秋田

# 6年ぶり開催 総勢105名参加

## 昭和56年卒同期会

昭和五十六年卒業の同期会が八月十四日、ホテルメトロポリタンで行われました。

同期会としては六年ぶりの開催で、恩師四名、同期生百一名の総勢百五十名の参加となりました。乾杯のご挨拶は、柴田俊二先生。「昔、秋田高校というところで教師をしておりました、柴田でございます」の洒落た第一声に、会場一同拍手喝采。ご挨拶の中で、東京で出身校の話になると、大学よりも高校はどこかということになり、秋高出身と明かすと一様に「あの文武両道の秋田高校か」と相手の態度が豹変するという話がとても印象的でした。つきない四方山話でしばしの間、三十年前にタイムスリップをした後に、会場いっぱ

めくくった。なお、総会の年ごとに発行している機関誌「紅顔日に日に」第八号が会場で配られたが、今号はオールカラー、八十五ページの豪華版であった。



いに同期生の壮大な輪を作り、校歌を五番まで歌い、お開きとなった。(昭和56年卒 佐藤 晋)

同期生諸君。次回は二年後。卒業五十周年記念総会である。お互いに息災に過ごし、そのときには再会を喜びあおう。(37年卒同期会事務局 関 徹彌 記)

# 1年ぶりに 旧友と懇談

## 昭和26年卒関東地区会



六月七日(月)「土風炉」神田店において、二十三名出席の元に開催した。冒頭、この一年の間に逝去された八名へ黙祷。幹事長宗方素君の挨拶、秋田から参加の藤原哲君による母校ならびに秋田近況紹介、幹事佐々木研吾君の会計報告と続いた後懇談に入った。出席者一同、一年ぶりの旧友との懇談を、美酒とともに味わった。最後に校歌、校友会歌を斉唱し、来年の再会を約して散会した。

へ黙祷。幹事長宗方素君の挨拶、秋田から参加の藤原哲君による母校ならびに秋田近況紹介、幹事佐々木研吾君の会計報告と続いた後懇談に入った。出席者一同、一年ぶりの旧友との懇談を、美酒とともに味わった。最後に校歌、校友会歌を斉唱し、来年の再会を約して散会した。

つどい